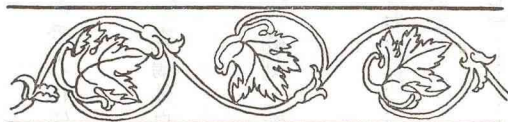


早 稲 田 大 学

図 書 館 紀 要

第 33 号



ライブラリアンの仕事

野 口 洋 二

新中央図書館の建物が完成した。さまざまな困難を乗り越え、大学が一丸となって論議を尽くし、心を合わせて、待望の大図書館の建物を建設することができたことを心から喜ぶたい。

図書館はしかし、建物も大切だが、言うまでもなくその中味が問題である。しかも、これからの情報社会における図書館は、資料の保存と利用に加えて、研究・教育の情報センターの中心としての機能を担うものでなければならぬ。そのため来春四月に開館する新図書館は、あらゆる点で最新の図書館機能を備えたものとなるであろう。しかしそのために、図書館のプラグマティックな面を過大視するという危険はないであろうか。ライブラリアンの仕事は何か。今こそわれわれは、これを改めて考えてみる必要がある。この紀要が、そのためのフォーラムとなれば幸いである。

1991 年 1 月